

ケニア・ロシアからの留学生（大学院生）との交流

7月8日（金）の放課後、長崎大学熱帯医学研究所グローバルヘルス研究科に在籍するケニアからの留学生エイドリアンさんと、長崎大学工学研究科に在籍するロシアからの留学生アレーナさんとの交流会を実施しました。国際交流部の生徒を中心に13名が参加し、英語を用いたゲームや、ケニア、ロシア、長崎について地理、歴史、自然、文化、食べ物、教育などについてスライドを用いたプレゼンテーションや質疑応答を行いました。



エイドリアンさんによるケニアの紹介
— マサイ族の驚異的なジャンプ力についても紹介がありました —



アレーナさん（中央）はおせち料理について質問してくださいました。「特別な箱に入れて、元旦に食べます」「高いけど外注します」と回答。
（左手前が溝田先生、右手前がマット先生）

長崎大学名誉教授で元国連ユニセフ駐日代表の溝田勉先生や、本校英語講師のマット先生とALTのツェホ先生、7/7～7/20までマレーシアから本校へ短期留学中のマニ君も参加し、楽しく教養を広げる時間を過ごしました。



ALTのツェホ先生（右端）は南アフリカ出身なので、エイドリアンさんにたくさん質問してくださいました。



↑
本校短期留学中のマニ君

7月15日（金）にもお二人をお招きし、高2国際科の生徒数名も加わって、英語を用いた国際交流活動を深める予定です。